



森のネックレス

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びを味わうことができます。
- ひもを「結ぶ」という動きを習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図工、生活など
中学校：美術など

2 活動の概要

自然の素材である松ぼっくり、くるみ、木の枝等を材料に、独自のネックレスを作る活動です。



<作品例>

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 制限なし
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1～1.5時間（説明20分＋活動40～70分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター
- (6) 経費 30円／1作品
- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	特になし
自然の家	材料：自然物（松ぼっくりや木の枝など）、ヒートン（5～10個まで/1人）、毛糸 用具：油性ペン、ポスターカラー、ラジオペンチ、ニードル、セロハンテープ、剪定バサミ、作業板

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

	内 容
説 明	- 参考作品を提示しながら、作り方について説明 - 用具の使い方と安全について説明
活 動	① 自然物でどのようなネックレスを作るかイメージする。 ② 自然物にヒートンを取り付け、必要に応じて色塗りなどの装飾をする。 【自然物】 松ぼっくり（大・小）、くるみ、 木の枝（梅枝）、木の輪切り、 どんぐり、トチの実など - ヒートンをうまく取り付けできない子どもには、ニードルで軽く穴を開けたり、ラジオペンチを使ったりすることをアドバイスする。幼児や低学年の場合、ヒートンを取り付ける作業は大人がやってあげてもよい。 - 梅枝を切る作業は大人が幼児や低学年の場合、大人がやってあげてもよい。 - ドングリは割れやすいので、ニードルで穴をあけた後、穴に木工用ボンドを注入してからヒートンを差し込むようにする。 ③ ひも（毛糸）を通して、自然物を結びつける。 - ヒートンを通すひも（毛糸）の先はセロハンテープを巻くと通しやすくなる。 - 自然物の結び方は「1回結び」か「2回結び」にする。 ④ ひも（毛糸）の端を結んで完成。 - 端の結び方は「玉結び」にする。
まとめ	- 感想発表や友達の作品の鑑賞 - 用具の返却と後片づけ

6 安全に実施するためのポイント

- 用具を散乱させておかないように注意する。